

■世界一の投資家バフェットが年利20%（約）なのに、
個人投資家が月利で10～30%稼げたり、
短期間で資金を3倍にも5倍にも出来るのは嘘ではないか？

ごもつともな意見であり、
投資の事を全く勉強していなかった時の私もそう考えていました。

しかし、こういう事を言うのは証券会社や銀行の人や、
ブログ等で投資信託などを勧めている方が多くないですか？

「あのバフェットでさえ年利は20%なのに、
株やFXで資金を倍にするなんて出来ると思いますか？
こちらの投資信託が年利回り5%で安定してお勧めですよ」

「うん、その通り！年利2～5%が堅実だよ！」
と勧められるがままに元本割れの危険があって手数料も高いアクティブファンドにお金を
入れて投資した気になってる人が大勢いるのが現状です。

**とは言え、投資信託を否定する気は一切ありません。
ETFやインデックスファンドは良い投資先です。**

それはさて置き話しを戻しましょう。年利20%を超えるのはすごいですが、
例えば、1万円を1年かけて1万2000円にするのはすごい事でしょうか？
少し無理すれば、1週間のトレードただけで達成出来る数字です。

「1週間で1万円を1万2千円にした！」
利殖率で考えれば、1週間20%なのでおかしい数値であって
これがずっと続くことなどありえないですが、

1週間で2千円増えたところで、全くすごいと思えないですよ。ね。
逆に、1週間で2千円損してもそれほどの痛みは感じないでしょう。

では、一気に規模を大きくして
1兆円が1週間で2000億円減ったとしたらどうでしょう。
企業の存続も危ぶまれる大失敗です。

では、年利100%で考えてみましょう。

・ 1万円を1年かけて2万円にする。

ものすごく簡単そうなイメージです。10万円にも出来そうな気がします。
1年かけて1万円が無くなっても、悔しいけどまあいいかという気持ちだと思います。

では、

・ 1兆円を1年かけて2兆円にする。

突拍子もなさすぎて想像すら出来ませんが、どう考えても無理です。

同じ年利100%でも金額によって意味合いが全く違ってきます。

■ **バフェットが率いるバークシャー・ハサウェイの
株価が年利20%以上を記録したという話し**

バフェットはバークシャー・ハサウェイという持株会社の会長です。
ちなみに、バフェットが創業した会社ではありません。
買収して経営権を握った会社です。

話しをわかりやすくする為に省略すると、

「バフェットがバークシャー・ハサウェイの経営を始めてから、
株価が上がり続けて、結果的に、バークシャー・ハサウェイに最初から投資していれば、
年利で20%以上の配当をもらったのと同じようなものだよ」
という意味になります。

ちなみに、バフェットが買収したバークシャー・ハサウェイは、
その昔、バフェットに買われる前はただの繊維会社です。投資会社でも何でもありません。

そして、バフェットの生い立ちを見てみると

「幼少の頃からビジネスや投資の知識を身に着け、
11歳で株を書き、高校の頃にはビジネスを手がけ、
30歳で億の資産を持ち、後の母体となるバークシャー・ハサウェイの経営権を握り、
40過ぎた辺りで30億前後の資産を持ち、
80を過ぎた時点で6兆を超える世界一の投資家」

つまり、バフェットは投資も経営も超超超超超一流。
子供の頃から異次元の存在だったようです。

※調べられる資料を元にしてはいますが、間違っただけの記述があれば削除、訂正致します。

ちなみに、バフェットの一番の特徴が「長期投資」なので、
投資は長い目で見るのが正義と考えている方も大勢いらっしゃいますが…

■長期投資をすればバフェットのような大金持ちになれる
と考えるのは、努力すれば誰でもイチローになれるというぐらいおかしい事

バフェットは幼少の頃から才能を発揮し、努力し、
割安な株を見つけ、長期保有することで資産を築き、
なおかつ経営も上手い。スーパーマンです。

30歳で類まれなる才能を発揮し億の資産を築き、
会社を買収する経営センスがあり、投資規模が大きいバフェットが言う「長期投資」と、

「30歳で、給料が少ないからお金を増やしたいと思いたち、
余裕資金の100万円を株や投資信託に使って、ずっと置いておくだけで「長期投資」と
言い張る勉強不足の青年」とは訳が違います。

長期投資と言えど堅実で地に足の付いた投資のようで耳障りがいいですし、
何より世界一のバフェットが長期投資で成功しているのだからという気持ちでしょうが、
短期投資だろうと、長期投資だろうと、勉強不足なら良い結果にはなりません。

■そもそも、日本株か米国株かという違いもあります

「長期投資」が良いという言葉だけ先行して、
長く考えれば良いという風潮がありますが、
(本編ページで書いたように、私も長期投資には賛成ですし実際にやっていますが)

日本株と米国株の成長率を比べたことがあるでしょうか？
米国株は昔からずっと持っていればほとんどのケースで報われますが、
日本株の場合にはご存知の通り、タイミングによって長期投資でも報われないケースがあります。

そもそも、バフェットの投資対象を知りもしないのに、
何でも長期投資をすれば成功すると思っ込んでる方はすごく多いです。

■バフェット流の長期投資で成功出来るのは、
「資金を引き出さないで待てる余裕があり、
初期投資金もあり、なおかつ勤勉である」ことが最低条件

「よくわからないから投資信託を買う、株を買う、債権を買う。投資は長期だからね！」
という上辺の話とは全く違います。

言うまでもなく、バフェットは投資対象の企業を徹底的に調べています。
日本にも、企業分析で巨万の富を築いたすごい投資家さんがいます。

「投資は長期だから」という方に限って、少し利益が出ると確定させて、
損が出ると、「長期投資だから全然気にしてないよ」と言ったりするものです。

例えば、1965年パークシャー・ハサウェイに100万円投資していれば
今は数十億になっているという話しが出たりしますが、
買っていた事を忘れてる人以外、そんなに長期間待てるでしょうか？

30歳で投資して、待つ待つ待ち続けて、80歳になった時に
数十億の利益を確定させた。そんな非現実な話に夢を感じられるでしょうか？

買っていたら、買っていれば。

投資にタラレバの話を持ち出して夢を見るような最初からやらないほうが良いです。

私がリップルを保有しているのはすでにご覧頂いた通りですが、

これを80歳まで持ち続けて数十億の利益を確定させる気など毛頭ありません。

80歳になってからの数十億より、30代、40代での数億円のほうが嬉しいです。

現実の生活と切り離して、「〇〇しておけば大成功」なんて話しは、

過去チャートを見て「ここで買っておけば大儲けだったのに」と皮算用する行為と同じです。

小資金で何の戦略もなく長期投資をするのはこれと同じような事です。

世間一般で言われるような、投資信託、債権、国債などの長期投資で資産を増やすなら初期資本がある程度ないと難しいです。

「30年後、50年後に金持ちになっていればOKです！」

という方なら別ですが。体が動かなくなってきたからお金持ちになっても嬉しくない方がほとんどではないでしょうか。

■利回りが低ければ安全、高利回りだと危険という幻想と現実

FXは危険、破産、ギャンブル、借金と良くないイメージがあると思います。

実際、スイスフランショックでは破産者が続出しましたし、

近年では南アフリカランドやトルコリラ、ポンドでも破産者が大勢出ました。

しかし、本編で紹介している資金管理法を実践していれば、

どの通貨で取引しようとして、初期投資した資金10%の損失だけで助かります。

しかも、資金10%を失うのも一番最悪なタイミングで大事故が起きた時だけですからね。

通常はもっと少ない損失で助かります。

その一方で、本編で私の成績をご覧頂いた通り、

資金を増やしては引き出し、増やしては引き出し、

何度も繰り返し出来ている事実もあります。

この2点を見て、高利回りだからFXは危険と言えるでしょうか？
適切なルールでFXをやれば、破産するのはほぼ不可能なレベルなのは
すでに販売ページでお伝えした通りです。

危険なのはFXではなく

「資金管理もせず、ルールも持たずにお金をつぎ込みトレードを続けた人」
そのものではないでしょうか。

少し話しが逸れます。

投資の種類が違うので一概に比べることも出来ないのですが、
不動産投資は一般的に考えて堅実な投資のイメージがあります。

しかし、シェアハウスの「かぼちやの馬車」問題では、
自殺者も出るほど多額の借金を抱える方が続出しました。
不動産だけに額が大きく5000万や1億の借金です。

更にスルガ銀行の問題もTATERU問題も重なり、
銀行からの融資が出なくなったので、
信じられないスピードで不動産投資業界が冷え込みました。

投資信託でも、元本割れする商品は山ほどあります。
初心者の方が利回り目当てでアクティブファンドにお金を入れるぐらいなら
インデックスファンドやETFを買っておいたほうが良いです。

結局、その投資に潜むリスクと最悪のパターンを想定出来なければ、
利回りで判断することなど出来ないのです。

(怪しげな投資話しに乗るのは言語道断です)

マーケティングFXも怪しいと感じれば購入しないのが賢明な判断です。

■月利5～30%を記録する個人投資家がそこら中にゴロゴロしている理由と、バフェットの年利20%がほぼ無理なレベルで難しい理由。

数字だけ見ると矛盾しますが、その背景を考えればとても簡単です。

・説明責任のない個人の自由な資金を使ったトレード

→ルールを確立し、遵守すれば、現代の投資環境と手数料から考えれば、成績が月利5%～を超える、一般的には異常な利殖率も成立する。

・会社組織として、株主が納得する説明責任を果たした上での投資活動

→「1兆円を、株主が納得するように投資して20%増やして下さい」と言われて出来るでしょうか？

そもそも1兆円を何に投資するのか？ 10%減れば損失1000億。
一切のミスは許されず、説明責任もある巨額の資本をどう使いましょう？

移動平均線がゴールデンクロスしたのでドル円で買いを入れましたが
目論見が外れて負けました。そんなやり方で投資家が納得出来るはずがありません。

会社買収もするでしょうし、不動産も買うでしょう、金融商品も買うでしょう。
不採算事業は撤廃しなければいけません。
説明責任のある巨額資本で年利20%を記録するなど、
どうやったら出来るか想像もつきません。

■「だったら、自由な個人トレーダーがバフェットの資産を超えられないのはおかしくないか??」という疑問について

「説明責任のないお金を、延々と月利5%~30%で運用出来るなら、1兆円超えのトレーダーが世界中に居るはず！だから嘘だ！」という理屈も成り立ちそうですが、

実際にトレーダーになって安定して勝てるようになってくるとすぐわかります。

(そもそも現実問題として、巨額の資本をデイトレ感覚で気軽に動かせる市場がないと思います)

個人トレーダーレベルで言えば、「メンタルが持ちません」

「いやいや、投資家として当たり前的事をして、やるべき事をすればメンタル云々関係ないって書いてたじゃん！」と思われるでしょうが、

個人トレーダーとして資金を増やしていくと、

**「自分が想定しているよりかなり早い段階」で
資金量と自分の器でバランスが取れなくなる時期がやってきます。**

これからFXを始める方は、

「そんな事ない！資金は雪だるま式に増えていくし、自分は出来る！」

と思っただけで、それが普通の考え方なのですが、

いざ増えていくと、「いつも通りのトレードが出来なくなる金額」の壁が出現します。

資金1%ルールで実行するにしろ、「1トレード5000円の損は何も感じなかったけど、1トレード3万円の損になったら何か落ち着かなくなった…」

こんな気持ちになる方が多いです。

稀に、この感覚が壊れていてどこまでもイケイケでトレード出来る方がいて、短期間で富を築きますが、大抵全てを失っています。

(そもそも無理なロットで取引しているので、目論見が外れると一瞬で終わってしまいます)

一般的なトレーダーの場合、

ストレスがかからない金額に落ち着くか、ほんの少しずつ増やしていくので、

初心者の方が考えるような、倍々ゲームで増やしていくような、

そんな人は中々いないと思います。

意外に思うでしょうが、

「一定金額稼いだら、その月はトレードをしない」という人も居るぐらいです。

「勝てるなら限界までやるでしょ？」「もっとトレードすれば、もっと稼げるでしょ？」と思われるでしょうが、販売ページで書いたように、投資世界と、時給月給の世界は根本的に作りが違います。

時給〇〇〇円。月給〇〇万の世界に慣れていると、

「もっとトレードすれば、もっと稼げる」という思考になりますが、投資世界では、この感情が命取りになります。

それを抑制するのが損失2%制限だったり、

ルールを守ってトレードする縛りなのですが、

こればかりは、一度大きな失敗をしないと中々身につかないかもしれません。

あなたが資金の50%以上を失うような大敗を喫した時、もしくは、月100万以上稼ぐトレーダーになったらこのページをもう一度見返してほしいと思います。「なるほどな〜」と共感して頂けるでしょう。

■ 50万を何倍に出来ても1000万円を何倍にも出来ない理由

本編でご覧頂いた通り、50万円の口座を短期間で何倍にもしていますが、これが1000万円スタートだと多分無理です。

「投資法に自信があるなら、資金をいくらでやったって同じことが出来るだろ？出来ないのはお前が嘘つきか、実力がない偽物だからだ！」

一見、理屈が通っているようですが、

投資で失敗してしまう方は、資金を増やせば増やすほど雪だるま式にお金を稼げると妄想してしまうので、早い段階でこの思想を改める必要があります。

漫画「カイジ」の鉄骨渡りと同じです。

(知らない方は「カイジ 鉄骨渡り」で検索してみましょう)

ルールは簡単。

「25メートルの鉄骨を渡りきれば賞金2000万円」

ただし、「地上74メートルに設置した鉄骨を渡りきること。
安全ベルト無し。落ちたら即死。」

地面に置いてある鉄骨を渡り切るのは誰でも出来ます。
幼稚園児でも遊び半分で出来るでしょう。

鉄骨の高さが1メートルでも、ちょっとした遊び感覚で楽しく渡れます。

が、高さ10メートルを超えると生き死にの世界ですから、
まともな感覚では渡れません。74メートルなど狂気。

地面に置いた鉄骨なら簡単に渡れるのに、高くなると渡れない。

「やることは同じなのに出来なくなる」

50万円だと簡単でも、1000万だと出来ない。同じ理由です。

本編でも紹介した名著「ゾーン」にも、同じような描写があります。

「ロットが上がればそれだけ道も狭く危険になっていく」と。

初心者の方は、壊滅的な失敗をするまで気づけないので、
投資資金を増やせば増やすだけお金持ちに近づけると考えてしまいがちですが、
その考えは絶対に間違っているのでご注意下さい。

あと、資本によって利回りの意味が違ってくるといふ点にも注意が必要です。

■表面的に見て、「年利」が20%だとか「月利」が20%の話しでは判断出来ない

数字あそび、言葉あそびのような屁理屈に見えるかもしれませんが、現実社会ではすごく重要な考え方です。

- ・ 年利1%で1億稼げる資本家もいれば、
- ・ 月利20%でも、月のリターンが10万円しかない人もいる

資金によって、稼げる金額がまるで違います。

資金が大きくなれば、利回りが下がってくるのも自然な流れではないでしょうか。

ということで、

・ バフェット（バークシャー・ハサウェイ）が年利20%という話すと、個人トレーダーが月利5～30%の話しはそもそも比べられない別次元の話しであること

・ 資金が増えれば増えただけ稼げると考えるのは、鉄骨渡りと同様であること

・ 早い段階で、資金とメンタルのバランスを考える時期がくること

このような理由があります。

**少し稼げるようになってくると、「もっと資金を増やせば、もっと稼げるようになる！」
そう考えて、貯金を突っ込むのですが、絶対にやめておきましょう。**

「きちんとした資金管理法をやるなら破産しないんだろ？」
そう思われる方も多いでしょうが、

**貯金を突っ込んで、「もっと稼げる、もっといける！」
心理状態になったらもう終わりです。
欲に負けた状態ですから、資金2%ルールを守れません。**

いつの間にかルールを破って、無茶苦茶なロットで取引して、
一時的に信じられないほど資金が増えていきます。

「資金管理法なんていない。 あんなもの守るのはバカバカしい。俺はすごいんだ！」

大抵、皆そう思うのです。
経験が長いトレーダーはほとんど経験しています。

それを経験した結果、ロットは抑えようというのがトレーダーの総意ですから
大きな失敗をしないうちに気づいて頂けると幸いです。

稼げるようになると正常な思考が失われてロットを上げがちですが、
皆そうして失敗しているのでご注意ください。

以上、バフェットの年利20%と、個人投資家の月利20%は比較対象に出来ないという
話しでした。 長期投資は企業分析ありきです。

お金を入れてほうっておくことが長期投資ではありません。
損切り出来ずほうっておくことも長期投資ではありません。
長期投資は、利確を待てる強いメンタルと戦略、分析力があってこそです。